

第86回・第87回 社会資本整備審議会 道路分科会 基本政策部会での主な意見

(地下空間情報のデジタル化・統合化に関して)

- ✓ 地下空間情報のデジタル化・統合化は国土強靱化の観点でも重要である。
- ✓ デジタル一元化の分野は急速に変化している。単独でデータベースを構築・管理するのではなく、データを持つ個々の機関がデータベースを構築・管理したうえで、それらデータを API などで繋げて利活用する分権型データベースとすべきではないか。
- ✓ デジタル技術は速い勢いで技術革新が進んでいる。新しい技術を柔軟に取り入れることと、足元の問題に迅速かつ適切に対処すること、両方のバランスを取ることが重要。
- ✓ データベースの構築は地下に限らず、幅広に考えることが必要ではないか。

(道路管理者・占有者の連携に関して)

- ✓ 地下空間の管理にあたっては、道路管理者と多くの占有者を「群」として捉え、点検や情報交換等が効率的・効果的となるようすべきではないか。

(地下空間利用のあり方に関する意見)

- ✓ 八潮市の事故を踏まえれば、交通量の多い緊急輸送道路などに埋設する施設のあり方を検討すべきではないか。
- ✓ 陥没要因を考慮した、権利義務や負担の仕組みを考えていく必要があるのではないか。
- ✓ 下水道以外でも破損した際の影響が大きい占有物があるのではないか。
- ✓ 検討にあたっては、陥没事故による道路や占有物の復旧費用、沿道住民等への補償、道路の迂回や混雑など、様々な社会的不便益も考慮すべきではないか。
- ✓ 既設埋設物がある事で車道に埋設せざるを得ないケースもある。原則歩道という理由で、輻輳区間を過ぎたら歩道に戻すことが合理的なのかという視点も必要ではないか。
- ✓ 強靱な道路空間の確保には無電柱化が必要である。地下化を誘導・促進するような視点も必要ではないか。
- ✓ 都市部の道路の役割を考えると、今後もオープンスペースとしてのニーズが高まると想定される。地下空間利用のあり方の検討にあたってはバランスも必要ではないか。

(新技術の研究開発について)

- ✓ 新道路技術会議で採択した研究は3年という期間設定だが、地下空間の総合的なマネジメントを研究するという意味では、長期的な仕組みも検討すべきではないか。

(道路排水施設の維持管理に関して)

- ✓ 排水施設の損傷は、道路に降った雨を急激に排水することも要因の一つではないか。雨水のコントロールにより排水施設への負担軽減に寄与する可能性がある。